

現地の
ラグーマンに
聞いた!

NZ緊急調査「JKってどんな人!？」

日本中のラグビーファンの注目を一身に浴びているJKだが、母国ニュージーランドでは果たしてどのような存在なのか？ 本誌現地在任ライターが緊急寄稿&アンケート!

(取材・文／KICKOFF上野貴穂)

★母国から尊敬される「レジェンド」

レジェンド(伝説のプレーヤー)と呼ばれる人達がいる。バツク・シエルフォード、シヨーン・フィッツパトリック、タナウマガなどとともに、新しいジャパンのヘッドコーチ、ジョン・カーワン(以下、JK)その人も、元オールブラックスという枠を超えた特別の存在「レジェンド」だ。それは、優れたラグビープレーヤーとしてだけではなく、国民的英雄としてニュージーランド人に受け入れられているという意味だ。

現役時代を知る人は、口をそろえて、「彼はスーパースターだ」という。その存在感によって、見ている人の心の中に彼のプレーをいつまでも刻み込んでいる。第1回ワールドカップでのボールを持った独走を、JK像として憶えている人も多い。

最近では、ニュージーランドで大きな社会問題となっている、若年層の鬱病に対する政府のキャンペーンのテレビコマーシャルに出演している。ニュージーランド政府がレジェンドの力を借りて、若い人達に、生きる喜びや夢、そして希望を持つと訴えかける。誠実なイメージのレジェンド、JKにしかできないことだ。その中で彼は、希望を持つことの大切さをカメラに向かって淡々と、自分の言葉で訴えている。

現役のプロのラグビープレーヤーも、子どもの頃は皆JKを見て育った。そこで、スーパー14のチームであるチーフスの選手にJKについて聞いてみた。今、現役の選手の中でJKと一緒にプレーした選手は年齢的にいないし、彼の指導を直接受けた選手もない。でも、全ての選手がJKのプレーを見て育ち、彼のプレーからたくさんもの学んで、現在プロ選手として活躍している。「彼のプレーはすばらしかった」「彼のことは誰もが憶えているよ」と現役の選手が言う。「ジャパンはすごい人を手に入れた」とも。

たとえ直接は会っていないくても、多くの人にもいつまでも影響を与える。それが「レジェンド」、JKのすごさなのかもしれない。

スーパー14・チーフスの選手・コーチに聞いた！

Q1 現役時代のJKに対する印象は？

Q2 日本代表のヘッドコーチに就任したがどう思ったか？

■Aコーチ

A1/JKのことは、おそらくニュージーランド人全員が知っているだろう。彼は、非常に誠実な人である。

A2/言葉の問題などあるだろうが、彼は非常に経験豊かな人だから日本のコーチもきつとうまくやるだろう。イタリアのコーチをしていだし、日本でプレーヤーやコーチとしての経験もあるので、きつと成功させるに違いない。

■B選手

A1/JKは、ニュージーランドではスーパースターだ。例えば、ジョン・ロムリーのように。

A2/彼は日本でプレーしていたので、日本のカルチャーや日本のラグビーを知っている。日本のコーチになっても、その経験が生かされるだろう。ただ、わきに(アシスタントコーチとして)誰を連れて行くかも成功の重要な鍵だと思う。

■C選手

A1/個人的にはJKのことはあまり知らないが、選手として活躍しているところをTVで見たのをよく憶えている。

A2/日本のコーチとしてもきつとうまくやるんじゃないだろうか。

■D選手

A1/JKはスーパースターだ。僕が小さいころにTVで観たW杯での活躍は忘れられない。その姿は、ニュージーランド人全員がTVで見ているのではないだろうか。

A2/日本のプレーヤーやファンは、彼が日本のコーチになるというビッグニュースに、きつと興奮しているだろう。

■E選手

A1/JKが選手として活躍していたころ、僕は小学生だったが、ワールドカップの決勝戦をよく憶えている。彼がずっとボールを持って走っていた。常に彼がTVにうつっていたのを憶えている。彼は伝説の人だ。

A2/彼は素晴らしいプレーヤーであったが、日本のコーチとしてどうかというのは、僕はよくわからないので、コメントするのは難しい。文化も違うし、ラグビーも違う。日本の文化を自分の中にうまく取り入れられれば、うまくいくのではないだろうか。